

## こども未来部の使命・役割を教えてください！



- ◇ こども未来部は、こども育成グループ（8人）と文化スポーツグループ（6人）の2グループで構成し、「子育て支援に関すること」「子どもの育成に関すること」「生涯学習、文化及びスポーツに関すること」を所掌しています。
- ◇ 保育ニーズに対応した子育て環境を整備し、安心して子どもを生み、育てられることを実感できるような取組みや、個人的な学びを通して、地域への興味・関心高め、まちづくりへの活力へと高めていく取組みを進めることが、こども未来部の使命・役割であると考えています。

## 平成29年度の成果・課題を教えてください！



- ◇ 市誌編さんについては、順調に資料調査・整理を進めることができました。また、勤労青少年ホーム跡地活用事業については、民間事業者によるスポーツ拠点施設の整備に向けて、順調なスタートを切ることができました。
- ◇ 保育環境整備では、高取幼稚園・高取保育園の民営化・認定こども園化に向けて、移管事業者も決定し、開園に向けた協議など準備を進めることができました。

## 平成29年度の活動写真



▲高浜市誌の編さん（「聞き書き」の実践）



▲認定式（子育て・家族支援者養成講座）

### ■ 編集・発行 ■

高浜市役所 企画部 総合政策グループ

TEL 0566-52-1111（内線 339） FAX 0566-52-1110

E-mail seisaku@city.takahama.lg.jp

発行年月 平成 30 年 3 月



「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」をめざして

平成29年度 高浜市では  
こんなことに力を入れて取り組んできました！

# こども未来部長の 実行宣言！



【今年度の振り返り&来年度のアクション(案)】



- ◇ 高浜市では、「住んでよかった！」「いつまでも住み続けたい！」と思えるまちを目指し、行政だけでなく、市民の皆さんとともに、みんなで力を合わせてまちづくりに取り組んでいくことを基本姿勢としています。
- ◇ まちづくりの第一歩は、まちの課題を知ること、情報を共有することから始まります。そこで「今、高浜市ではどんなことが課題になっているのか」「そのために、市役所ではこの1年間で、どんなことを重点的に取り組んでいこうと考えているのか」といった取組項目や推進の決意を「〇〇部長の実行宣言」として部局ごとにとりまとめ、5月に公表しました。
- ◇ 1年間の取組みを振り返り、成果・課題を今後につなげていくため、今年度の取組状況と、来年度のアクション(案)について紹介します。



# 平成29年度 こども未来部では、こんなことに力を入れて取り組んできました！【今年度の取組成果・課題と来年度のアクション(案)】

## アクション 1

### 「高浜市誌」編さんに向けて、調査・執筆活動を本格的に開始します！

【担当 文化スポーツグループ】

市誌発行から約40年が経過し、この間、市の状況は大きく変化してきました。しかし、高浜市のあゆみを知ることができる貴重な資料の保存や、人々の中にある記憶をとどめる作業は、十分とはいえない状況にあります。市民の共有財産である資料等の散逸・消失を防ぎ、今を生きる私たちや将来のまちづくりに活かせるようにしていくことが重要です。

#### 具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 「市誌編集委員会」を立ち上げます。 **6月完了**
- ◇ 情報提供、資料の掘り起こし、語り、調査、執筆など様々な形で市民の皆さんに協力を呼びかけます。 **順調**
- ◇ 「中間報告会」を開催します。 **3月完了**

#### 今年度を振り返って【成果・課題】

市民や大学生、学識経験者とともに、産業の移り変わりやまちのあゆみ・人々の記憶を記録するための本格的な活動が始まり、新たな資料の掘り起こし、整理・活用が進み始めています。情報が寄せられることも増え、参加の輪が少しずつ広がりを見せています。

#### 来年度の具体的なアクション(案)

- ◇ 市民の高浜市に対する興味・関心を高め、編さんの輪を広げていくため、「広報たかはま」裏表紙にて新連載を開始し、調査・研究で得られた資料等の情報を発信します。 **4月までに実施**
- ◇ 調査で得られた知見などを知っていただく機会として、歴史・技術・流通など多角的な観点から地場産業の三州瓦を捉える「かわらシンポジウム」を開催します。 **12月までに実施**

## アクション 2

### 生涯学習施設の総量圧縮・機能移転に向けた検討等を進めます

【担当 文化スポーツグループ】

公共施設の複合化・集約化などの取組みは、人口構造や財政状況といった市の将来を見据え、「公共施設総合管理計画」に基づいて計画的に取り組んでいます。市としての生涯学習や公共施設に対する方針を市民の皆さんにお示しし、限られた財源の中で、どのようなまなびの場が市民の皆さんや地域にとって大切なのかを、ともに考えていくことが大切です。また、利用者等に対して早めに情報を発信していくことも大切です。

#### 具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 大山公民館のあり方（保有形態の見直し）について、地域とともに協議を始めます。 **順調**
- ◇ 勤労青少年ホーム跡地活用に向けて、民間事業者から提案を募集し、実施事業者を選定します。 **順調**
- ◇ 図書館のあり方（機能移転）について、市民の皆さんとキャッチボールしながら素案をまとめます。 **遅延**

#### 今年度を振り返って【成果・課題】

- ◇ 大山公民館は、市として保有しない方針を地域にお伝えし、地域が主体となって運営する場合の課題等について検討を進めています。
- ◇ 勤労青少年ホーム跡地活用事業は、事業者が決定し、事業契約を締結しました。
- ◇ 図書館のあり方検討は、「ざっくばらんなカフェ」や「図書館協議会」での意見交換にとどまっています。これまで培ってきた強みを活かし、子どもの育ちやまちづくりを支える機能を重視した「課題解決型の図書館」に向け、丁寧な検討を進めていく必要があります。

#### 来年度の具体的なアクション(案)

- ◇ 大山公民館のあり方について、地域とともに方向性をまとめます。 **平成31年3月までに実施**
- ◇ 平成31年4月のオープンをめざし、民間事業者によるスポーツ拠点の整備を推進します。 **平成31年3月までに実施**
- ◇ 市民の皆さんとキャッチボールしながら、高浜市にふさわしい図書館のあり方（機能移転）を検討します。 **平成31年3月までに実施**

## アクション 3

### 「子ども・子育て支援事業計画」に沿った多様で柔軟な保育サービスの提供体制を整えます！

【担当 こども育成グループ】

社会経済情勢の変化に伴う女性の社会進出の増加等により、子育てと仕事の両立を求める声は、年々高まっています。

子育て・子育てを総合的に支援するため、「子ども・子育て支援事業計画」に沿って、多様で柔軟な保育サービスの提供体制を整えていくことにより、安心して子どもを産み、育てられる環境を整えていくことが重要です。

#### 具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 高取幼稚園・高取保育園の民営化・認定こども園化の移管事業者を決定します。 **6月完了**
- ◇ 高取幼稚園・高取保育園の民営化・認定こども園化のため、敷地の測量を実施します。 **7月完了**

#### 今年度を振り返って【成果・課題】

- ◇ 移管事業者である社会福祉法人清心会と一緒に市民や臨時職員向けの説明会などを開催しました。現在は、清心会が園の設計中であり、移管に向けて順調に進んでいます。

#### 来年度の具体的なアクション(案)

- ◇ 五反田グランド駐車場から高取保育園への通路整備工事を行います。 **6月までに実施**
- ◇ (仮称)たかとりこども園の駐車場用地を取得します。 **12月までに実施**
- ◇ (仮称)たかとりこども園の建設等に対し、清心会へ整備費等の補助等を行います。 **平成31年3月までに実施**

## アクション 4

### 子育て支援の人材育成により、子どもの成長を応援する大人を増やします。

【担当 こども育成グループ】

保育ニーズは引き続き、増加傾向です。これまでも、人材養成の一環として、子育て・家族支援者養成講座を開催し、地域で子どもの成長を応援する人材の確保を進めてきました。

今後、さらに子育てしやすいと感じていただけるよう、地域の子育て支援の人材確保のため、人材育成を進めていきます。

#### 具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 子育て・家族支援者養成講座を開催し、家庭的保育者と子育て支援員の認定をします。 **9月完了**

#### 今年度を振り返って【成果・課題】

子育て・家族支援者養成講座の受講者34名のうち家庭的保育者認定研修の修了者は5名、子育て支援員研修の修了者は10名でした。新規受講者及び欠席者向けの講座を継続し、修了者を増やしていきます。

#### 来年度の具体的なアクション(案)

- ◇ 子育て・家族支援者養成講座を開催し、家庭的保育者と子育て支援員の認定をします。 **9月までに実施**
- ◇ 一般市民向けの子育て支援講座を開催します。 **9月までに実施**